



旧統一協会と市の関係は
塚越 洋一 議員

問 旧統一協会及び関係団体と市との関係は。
答 行事への参加や事業への後援、挨拶等について調査した結果、関わりは確認されなかった。

大井郷土資料館の常設展示場は

大井郷土資料館の常設展示場がなくなるがどうするか。
答 10月に移転するが、旧大井村役場を週6日開ける常設展示場にする。

新施設については、総合的に判断する必要がある。後期基本計画に反映できるか調整中である。

大井総合支所入口交差点の渋滞解消を

亀久保旧道の信号機の調整など改善策を。
答 朝夕は1時間に800台超の交通量となるが、400m区間に3



バス停の安全確保など

危険なバス停や段差など、安全性の確保を。
答 道路幅や用地確保などの課題があるが、バス停の施設整備については、バス事業者や交通管理者等と連携し研究していく。



上福岡駅東口駅前広場等の駅周辺整備
近藤 善則 議員

問 交通結節機能だけでなく、都市の広場機能がない。駅前広場というより駅前通路では。
答 横断歩道橋の設置及び駅前広場の部分的な整備が完了したことにより、駅前広場を持つ交通結節点としての機能強化が図られた。

駅前広場整備計画は

一度整備工事が終わった後に、突如として横断歩道橋を完成させたように、一貫したビジョンに基づいた計画がある



駅前広場のデザイン基本計画は

長崎市の景観に関する検討会議では、駅舎、駅前交通広場、多目的広場、街路等に関するデザインの基本的な考えを取りまとめた計画がある。本市の計画は。
答 駅前広場の整備計画の策定の際には、まちづくりに関する国の最新の指針や時代ニーズ等を的確に捉えた上、自治体、交通事業者や専門家等の多様な主体と連携して取り組む必要がある。



人的サービスを主とする業務発注仕様書の改善
足立 志津子 議員

問 資料館の受付業務などの委託には、施設の設置目的を達成するための具体的内容を盛り込み、また従事者が業務目的を理解するための研修を業務の一環として行っている。
答 既に仕様書に業務内容を明記している。施設の設置目的を含めた研修は就業時間内に実施している。

受動喫煙をなくす取り組みの強化

歩道橋の通行者もタバコの煙の影響を受ける上福岡駅東口喫煙所は、望まない受動喫煙を防止する観点で改善を。
答 時代的背景などを踏まえながら喫煙所の在り方について考える。



子ども医療費無料化の拡大

入・通院費の無料化を18歳まで実施を。
答 入院の場合は約4000万円、通院は約



授業に影響ないよう学校備品の整備
伊藤 初美 議員

問 管理の状況は。
答 備品台帳に登録し、年に1回全てを点検し、教育委員会へ報告することとしている。

問 学校からの要望と予算との関係は。
答 児童生徒数・学級数などで配分し、必要性の高い物から教育委員会が検証し購入している。

また、緊急な場合、配分額に余剰が出そうな学校と調整するなど対応している。

インボイス無登録者の入札参加

消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）が10月から導入される。公共入札の参加資格要件とすべきではないと考える。見解は。
答 資格要件としては考えていない。



抗原検査キット

コロナ感染第8波への対応

問 発熱外来への受診が増加することで医療機関がひっ迫する恐れがあることから、県は有症状者への抗原検査キット無料配布事業を実施していた。第8波に向けて、検査キットの大量確保・配布すべきでは。
答 薬局などで購入できないので、キットや解熱鎮痛剤を準備するよう周知している。

自宅療養者への食料等支援の継続を

今年度末まで実施する。

未就園児に対する子育て支援は
問 全国で未就園児は約182万人いると推計され、親子の孤立などを防ぐための支援が必要と考える。本市の未就園児の数は。

健康診査が未受診の場合には、保健師による家庭訪問を行い、健康面の確認や相談、育児に関する困り事、心配事を丁寧に聞き取り適切なサポートにつながるよう支援している。



不登校児童生徒への対応は
原田 雄一 議員

問 不登校の児童生徒が全国的に大幅に増加している、本市の状況は。
答 令和3年度は、小学校66人、中学校130人である。令和2年度に比べ小学校で26人、中学校で44人と大幅に増えている。

問 児童生徒からの相談体制は。
答 悩みや不安を抱える児童生徒に対して、担任を中心に教育相談担当職員や養護教諭、さわやか相談員、スクールカウンセラーが連携して対応している。

健康診査が未受診の場合には

保健師による家庭訪問を行い、健康面の確認や相談、育児に関する困り事、心配事を丁寧に聞き取り適切なサポートにつながるよう支援している。

金融トラブルの未然防止を
問 各年代で、金融リテラシーの向上が必要では。
答 市民生活相談で対応している。



上福岡駅西口脇の市有地

誰でも楽しめる公園整備を

問 車椅子でも遊べるようなインクルーシブ遊具を公園に導入し、障がいのある子どもが楽しめる公共の場を増やすことが必要では。
答 利用者の関係や設置できる箇所を調査し検討していきたい。

教職員の負担軽減を

問 全国学力・学習状況調査がCBT化する。対応する人員の確保が必要では。
答 人員の増員が必要なのか、通信等の調整が必要なのかを含めて対応していく。

*CBT=Computer Based Testingの略称で、タブレットを使った試験方式のこと。



魅力的な市の玄関口を
小林 憲人 議員